

## 調査結果をふまえての今後の取り組みについて

○先に挙げた「学力について」の欄に記述した内容を改善・発展させるための具体的な手だてを以下に掲載する。



### 国語

☆作文の表記方法をしっかり理解させ、正しく文章表現の中に表せるように適宜練習する。

- ・「～たり、・・・たり」という表現の仕方など基本的な文章表現を覚えられるよう例文問題を数多く解く機会をもつ。

☆故事成語の成り立ちや意味を教えたり、調べたりする活動を意識的に設けることにより、実生活にも活かせるようにする。

- ・多くの文例を教える機会を意識的に設けることにより、その言葉がどのように作られ、どんな意味があるのかを理解させる。

☆ディベート学習や討論会を行い、司会の役割や発表者・聴衆等の立場を捉えながら話し合いに参加する機会を多く設ける。

- ・学習時間中の学び合い活動や学級活動での話し合い（交流）活動の時間を意図的に設け、各教科との関連を図りながら、全員が司会の役割を経験する機会を設けるなどする。

☆詩などの教材を多く取り入れ、解決の方法が分かるようにする。

- ・詩の作者の思いを読み取るための着眼点や設問に対する正しい答え方などに気づかせるために、自分の考えをまとめたり他者の意見との相違点を気づかせたりする指導を行う。

☆「ことばの学習」で指導する内容を重視し、各々の言葉の意味や使い方をしっかり理解指させる。

- ・語句に関する指導、特に「名詞」「動詞」「助動詞」「助詞」や「接続語」「修飾語」等についてはその言葉の持つ意味をしっかりと理解させ、文章構成の中で正しく使えるように指導する。

## 算数

☆「数と計算」の領域については、「加・減・乗・除」の個々の計算能力を高めるために基本となる計算のきまりを確認し、さらにドリル的学習を行い安定した計算力が発揮できるよう継続して指導する。

・「加・減・乗・除」が混在する計算については、「乗法・除法」が「加法・減法」に優先性があるというきまりを確実に理解できるように徹底した指導を行うと共に適宜練習の機会を設けることで計算力の向上を図る。

☆「図形の作図」についての基礎的な理解を高めると共に道具の的確な使い方ができるよう練習の機会を多く設ける。

・三角形、四角形の各図形の性質や定義を正しく理解し、それを用いた作図法が実践できるような指導を重ねる。

☆数量の関係を表す式についての理解を深め、簡単な式に表す良さを理解できるようにする。

・記号は「変量」を表すものとして理解し、記号を用いて式に表すことで数量の関係が簡潔・明瞭なものになることを事例を通して指導する。

☆表やグラフ等からの情報の読み取りについては、根拠となる事実を見つけ、的確に判断し、正しく解答できるよう指導する。

上記の他に、我孫子市の分析による国語科・算数科の取り組みも実施してい

## 学校生活全般について

○規律・規範の遵守の意識を継続する為に、東っ子三つの合い言葉を意識した指導を大切にしてい。く。「ひがしの文字」に当てはめた指導の継続。

・「ひとをはげまし応援する」・「かんがん挨拶する。」・「しずかに聞く」  
・靴（上履き・下靴）をそろえる。

○家庭学習の習慣化については、宿題の意味と・意義を再認識させる指導を行うとともに千葉県教育委員会「家庭学習のすすめ」を参考に保護者にも協力してもらえる指導を展開していく。

○相手を認め尊重する気持ちを持つような指導を展開し、子どもたちが安心して登校する学校・満足感をもって下校できるようにする。

☆今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

